

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信  
2016.09.01

Vol. **3**

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	9
インターアクト年次大会 報告	2	会員数および出席報告	10
夏期青少年交換事業 報告	4	コーディネーターNEWS	11
ロータリー防減災セミナー 報告	6	ハイライトよねやま	12
新入会員研修セミナー 報告	7	米山梅吉記念館便り	14
新発田 RC 創立 60 周年記念式典	8	ロータリー文庫通信	15

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : [m.tanaka@rid2560niigata.jp](mailto:m.tanaka@rid2560niigata.jp)

# ロータリーの歴史を今

国際ロータリー第2560地区  
2016 - 17年度 ガバナー  
田中 政春（長岡西 RC）



青く高い空の下、稲穂が風にそよぎ、越後平野は実りの季節を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月は、インターシティミーティング（IM）が6つの分区で開催されます。各分区のガバナー補佐を中心に各分区内での活発な情報交換の場、また、より親睦を深める友愛の場となり、延いてはロータリー全体の活性化につながる実りあるIMとなることを期待します。

さて、9月1日は「防災の日」です。1923年（大正12年）9月1日に起きた関東大震災に因み、大震災の教訓を忘れないという意味で制定された日であるということは、皆様もご存知であると思います。その一方、歴史を遡ること今から100年足らず前、1920年、当時日本で最初に創設された東京ロータリークラブにとって、この大震災がロータリー活動の大きな転機となっていたことを知っているでしょうか。

東京クラブは創設当初、ロータリー活動への会員の関心も薄く、クラブの存続も危ぶまれるほどであったそうです。しかし、関東大震災の惨事を知った国際ロータリーをはじめ、各国のクラブから続々と義捐金や救援物資が届き、これにより数多くの奉仕の喜びを身をもって感じ、ロータリーの本質を再認識することによってクラブ運営も一新されたそうです。当時の先達は、奇しくも関東大震災によって真のロータリークラブとしての本格的な活動をはじめ、その先達の精神は脈々と受け継がれ、今の日本のロータリークラブの礎となっています。

そしてまた、去る7月、ロータリー財団100周年の祝賀年度が始まりました。私たちは今、苦難の時代を乗り越えてきた先達の功績を讃え、その確かな活動成果を見つめ直し、「世界あるいは地域社会で支援が必要とされている人道的ニーズは何か。」を、皆様一人ひとりの立場で考え、より良い未来を築く新たな礎とする機会として捉えなければなりません。

「防災の日」にあたり、ロータリーの歴史との関わりを少し振り返ってみました。もしもの時に備えて、防災グッズの準備・点検や避難場所の確認もお忘れなく。

なお、今月の月信から米山記念館便り「米山梅吉の横顔」をシリーズで掲載しますので、合せてお読み下さい。

## 2016—17 年度地区インタラクティブ年次大会無事終了

国際ロータリー第2560地区

インタラクティブ委員長 清水 信博（高田東 RC）

去る7月16日より2日間の日程で妙高戸隠連山国立公園内、国立妙高青少年自然の家で年次大会が開催されました。

今回のテーマ、「世界の皆さん!!私のまちに遊びに来て!!」を掲げ、インタラクティブ130名、ロータリアン・留学生・ローターアクター約100名 合計約230名の参加を頂きました。

230名という参加人数の多さは過去にあまり例がなく、地区役員の皆様をはじめ各クラブのご協力の賜と感謝しているところです。大変ありがとうございました。

近年のインタラクティブ年次大会では、体験型研修が多かったように思われます。ある程度の研修内容が示され、インタラクティブが選択していくものです。ホスト校やスポンサークラブは大変な準備が必要でいろいろご苦労されたと聞いております。が、インタラクティブはスタートしてしまえば、完成まで導かれます。

今年度の方針はそんな傾向の中、「もっとインタラクティブに自主的に考えてもらいたい。自分の地域の未来をもっともっと考えてもらいたい。」との思いから大きな目標を掲げました。

上越教育大学・新潟産業大学の留学生にご協力頂き、「彼ら外国人から見た日本の良さ、地域の素晴らしさをインタラクティブが自ら引き出し、考えまとめ上げていく。」大変難しい課題に挑戦してもらいました。



19時30分よりのグループワーク（纏めの作業）が深夜まで及び、何を伝えるのか？どうまとめるのか？白熱した議論が各グループで交わされていました。

私自身実際、本当に完成するのか？何度も不安になり、正直、この企画は無理だったか？と諦めようと思った場面も多々思い出されます。

9の分科会会場（観光地）に分かれ、積極的に留学生と交流し、考えを聞き出し、人に伝えられるまで精度を高めていく。グループ分けはしてありますが、一人ひとりが、自ら動かないと何も起こりません。





しかし、翌 17 日の発表会では、ブログ形式で、すべてのグループが素晴らしい発表を行い、外国人の目線を見事に代弁していました。一つひとつの観光地の細かい所まで注意が及び、良いところや直したほうが良いと思われる事を的確に指摘していたと思います。自分が住んでいる素晴らしいこの故郷を再発見してもらいたいという、この目的は達成されたと確信しました。

全体的には、開会式・閉会式等の式典は厳粛な中、若々しさとにきびきびとした様子を感じ取ることができましたし、各分科会場では、ロータリアンとインターアクターと留学生が一体になり楽しく進行していきました。各食事も楽しく進んだ様子で、インターアクター同士、インターアクターとロータリアン、ロータリアンとインターアクター、また顧問教師同士の交流も進み、親睦という点でも良かったと考えています。

しかし、反省されるべき問題点もご指摘頂いたのも事実です。これは、報告書にて詳細に記す必要があると思います。

最後となりましたが、今年度の年次大会を開催するにあたり、地区役員のご協力をはじめ、各ロータリークラブ・インターアクタークラブ顧問の先生方、上越教育大学・新潟産業大学の留学生の皆さん、ホスト校上越高等学校の皆様、そして高田東ロータリークラブの皆様すべてに感謝致します。

ありがとうございました。素晴らしい地区大会でした。



## 感動を呼んだ田中年度の夏期青少年交換

国際ロータリー第2560地区

青少年交換委員長 本間 啓介(村上RC)

田中年度での最初の事業となる夏期青少年交換事業が、オレゴン 5100 地区のデヴィン君が7月10日に成田へ到着したことを皮切りに始まりました。

そして、7月11日にはドイツの学生5名を新潟空港に迎えることが出来ました。

順調な滑り出しで私も委員メンバーも喜んでおりましたが、先に来日したデヴィン君が心身ともに病んでしまいました。留学生のカウンセリングも経験のある委員メンバーに話を聞いていただきましたが残念ながら早期帰国となってしまいました。

気を取り直しての、朝日みどりの里キャンプでは地元クラブである村上ロータリークラブから会長と会長エレクトに出席いただき挨拶をいただきました。

そして、派遣学生にとっては最後となりますプレゼンテーションの練習と渡航直前のオリエンテーションを行いました。学生同士の交流が出来るのもこのキャンプの目的でもありました。

来日学生と派遣学生の情報交換も積極的に行われ大変有意義なキャンプとなりました。また、ゆかたでの参加を推奨した今回のキャンプでしたが来日学生の女子はゆかたを着て大変喜んでおりました。



7月25、26日は来日学生の東京研修旅行でしたが、平日にもかかわらずお世話をしていただいた委員メンバーには大変感謝しております。その甲斐があり東京ディズニーランド、渋谷の夜景、東京スカイツリー、浅草、皇居、東京駅と走り走りではありましたがなんとか日程をこなしました。

来日学生には日本の素晴らしさが伝わったと確信しております。

最後の夏期交換歓送会ではホストファミリーと学生達の涙のお別れに私たちも感動しました。

7月30日に学生達は期待に胸を膨らませ、新潟空港からドイツへ旅立ちました。2560地区の親善大使としての役目を果たし、たくさんの経験を積み、私たちロータリアンに素晴らしい土産話を持って帰国することを期待しております。

田中年度では、学生たちの帰国報告会を国際フォーラムの場をお借りしまして、2560 地区のロータリアン 100 名の前で発表致します。各クラブの国際奉仕委員長の皆様に於かれましてはこの発表の内容をクラブに持ち帰りまして報告をお願い致します。

各クラブのロータリアンの皆様には日頃より青少年交換事業へのご理解をいただきまして感謝申し上げます。



# ロータリー防減災セミナーを終えて

国際ロータリー第2560地区

ロータリー地域協働ネットワークセンター長 鈴木 重壺 (長岡 RC)

7月23日、ながおか市民防災センターの2F研修室に於いて恒例となった「ロータリー防減災セミナー」が開催されました。

テーマは「ロータリー地域協働ネットワークセンターの役割…地域と共に、備えよ常に」と銘うって、田中ガバナーを始め田中ガバナー年度のガバナー補佐、各クラブ選出の連絡員そして、ネットワークセンター担当委員から出席いただきロータリーが地域と共に歩を進める中で、ネットワークセンターの役割の認識と、いざという時に適切かつスムーズに動けることを目的として開催された意義深いセミナーでした。



特に協働諸団体とは回を重ねるごとに平時の情報交換の在り方と緊急時の連携の取り方について、より一層具体的事例を交えての意見交換が出来、意思の疎通をますます深めることが出来ました。

今回のトピックスとして、自衛隊新潟地方協力本部の石井一将本部長のお計らいで陸上自衛隊高田駐屯地第2普通科連隊長からも直々にお越しいただき、災害時の支援の実態等をお話しいただきました。

また、県警OBが中心となって活動されている被害者支援センターやボーイスカウト新潟県連盟・新潟いのちの電話の活動報告とロータリーとの関わりについてのお話を頂きました。地区ローターアクト代表からもアクトの活動方針に加えて災害時でのロータリアンとの協働についての意気込みを聞かせて頂きました。

第2部ではロータリー地域協働ネットワークセンターの役割をテーマに「ロータリーの発展は地域との協働の実践にある」とした視点から、鈴木センター長によるセンターの組織運営と被災時の連携の取り方を中心に説明がありました。

また第3部では、(公社)中越防災推進機構地域防災力センターの河内センター長から「熊本地震支援体験から考えること」というテーマで、被災地支援の体験を通じて支援する側のネットワークの大切さを実体験を通して詳しくお話しいただきました。

近年多発する自然災害を含めいざという時の備えを怠ることなく、志を共有できる協働諸団体と共に、地域のために地域と一体となって即応出来る事がロータリーへの信頼につながり「ロータリーに参加したい」と云うエネルギーにつながるものと考えます。

皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げセミナーの報告といたします。



## 新入会員研修セミナー報告

国際ロータリー第2560地区

クラブ奉仕委員長 浦上 義昭(長岡西 RC)

さる8月6日(土)長岡ベルナール2F チェルシーにて、入会1～3年会員を主な対象とする新人研修セミナーを13:30より15:30まで開催致しました。

出席者は、田中政春ガバナー・山本和則地区会員増強委員長・各ガバナー補佐・地区役員諸氏をはじめ出席会員114名です。

小林地区幹事により開会し、田中ガバナーより御挨拶を戴き、山本パストガバナーより「新入会員へのお話」として、ガバナー事務所一本化や会員減少をするとRI理事を日本から出しづらくなるという説明、1905年ロータリーの名前をつける時の候補名について、またライオンズクラブとの違いなど多岐にわたるお話を賜りました。それに続き「ようこそロータリーへ」のVTR放映を20分先行い、映像によりロータリーの全貌が良く分かる内容でした。

次に、浦上クラブ奉仕委員長による「ロータリーの基礎知識」として、ロータリー誕生や創立メンバー ポールハリスの人となりなどから始まり、日本のロータリー設立やその二年後の関東大震災における米国からの多額の援助の状況、ユネスコや国連誕生にロータリアンが多くの人材を派遣し、多大な協力をしたとの逸話を披露し、次に会長・理事会・SAA・出席・スマイルボックス等の各基礎知識の説明を行いました。

また、世界や日本のロータリアンにいかにか著名な人々が入会しているかを名前を挙げて発表し、ロータリーの良さを理解し 楽しみ 退会することなく、是非友人を誘って欲しいことをお願いして講演を終わりとしました。

山本パストの講評の後、15:50～17:30まで楽しく懇親会をしておひらきとなりました。



以上 ご報告申し上げます。



# 新発田 RC 創立 60 周年記念式典

60 周年実行委員長

清田 雅人（新発田 RC）

1957 年 5 月 2 日に第 2560 地区 7 番目のロータリーとしてうぶ声を上げた新発田 RC は本年で満 60 年となりました。

去る 7 月 30 日に 60 周年記念式典を月岡温泉ホテル清風苑にて執り行われました。

当日は二階堂新発田市長、田中ガバナーはじめ友好クラブである台湾蘆州重陽クラブ、沼田 RC、加賀 RC の方々、第一分区の RC メンバーのメンバーがお祝いに駆けつけてくれました。

記念式典のテーマはシンプルで且つ調和のとれた式典、そして新発田 RC らしく規律ある式典といたしました

本年度会長の高澤会長から先人の偉大さや功績の重さに思いを馳せ、次の 70 周年、100 周年へとロータリーの理念をつないでいく決意が述べられました。

記念事業として、29 年 1 月に竣工される新発田市役所 4 階テラスに市の樹でもある桜をデザインした花びらベンチ 3 セットを寄贈致しました。

新市役所庁舎は多くの市民との触れ合いの場となるようにと、市民が自由に昇り降りできるオープンスペースとなっております。そこからの眺望は飯豊連峰、五頭の山々が見渡せる絶好のスポットでもあります。

そのスペースに市民の皆さんが腰を掛け、寛げるちょっとおしゃれなベンチを寄贈致しました。



また、60 周年の記念公演として「タイムファイブ」のミニコンサートをやウイングラスを傾けながらおこないました。

タイムファイブの演奏と歌声に会場全体がうっとり聞き入り、和やかに宴のはじまりとなりました。

最後に会場の全員で「手に手つないで」を合唱し、名残りつきぬ間に閉会といたしました。



## 新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新 発 田	本間 裕士	2016.07.29	東北電力(株)新発田営業所
水 原	若月 正和	2016.07.02	(株)若月商店 (有)とき
中 条	近 賢 志	2016.08.03	有限会社 近建材
中 条	杉田 裕一	2016.08.03	杉田建設株式会社
新 潟	亀田 制作	2016.08.09	日本銀行
新 潟 東	山崎 一矢	2016.07.15	東海東京証券(株) 新潟支店
新 潟 南	馬場 工	2016.07.06	(株)新潟博報堂
新 潟 南	本間 涼子	2016.07.27	司法書士 長谷川英二事務所
新 潟 西	後藤 克洋	2016.07.21	(株)ホテルオークラ新潟
佐 渡 南	内 海 治	2016.07.01	(株)ユアテック佐渡営業所
新 潟 万代	熊倉 正志	2016.07.04	ミサワホーム北越(株)
新 潟 万代	渡辺 邦夫	2016.07.04	(株)中央グループ
燕	竹越 孝行	2016.08.04	(株)タケコシ
燕	飯塚 勇	2016.08.04	(有)飯塚石油
三 条 北	中原 尚彦	2016.08.02	株式会社ナナコ
長 岡	小川 智史	2016.07.05	小川コンベヤ株式会社
長 岡	阿部 広志	2016.07.12	長岡グランドホテル
長 岡	嘉部 正史	2016.07.12	株式会社NTT東日本一関信越新潟支店
長 岡 西	長部 亥史	2016.07.07	(有)長部配管
長 岡 西	田中 仁	2016.07.21	(有)広蔵
高 田	進藤 博	2016.07.01	第四銀行 高田営業部
高 田	飯塚 宏佳	2016.07.08	飯塚組建設(株)
高 田	小池 豊	2016.07.15	岡三にいがた証券(株)上越支店
越後春日山	宮原 吉広	2016.07.01	北野建設(株) 上越営業所

## 訃 報

新発田 RC 田中 茂穂 様 7月30日ご逝去

小千谷 RC 岡元 学 様 8月10日ご逝去



故人のご冥福をお祈りいたします・・・

## 第2560地区 2016-17年度 7月末 会員数および出席報告

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現 在	7月末 会 員 数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	△	87.25	371	375	38	4
新発田	3	99.65	97	99	0	2
村上	3	81.90	36	36	8	0
水原	4	77.53	25	26	1	1
中条	4	93.57	35	34	3	-1
新発田城南	4	87.33	40	40	5	0
豊栄	4	86.11	27	27	3	0
新発田中央	4	85.71	48	48	5	0
中条胎内	5	81.82	33	33	6	0
村上岩船	3	91.67	30	32	7	2
第2分區(9クラブ)	△	81.33	440	449	20	9
新潟	4	87.30	92	95	0	3
新潟東	5	87.47	62	63	8	1
新潟南	4	82.58	97	99	1	2
佐渡	4	89.30	7	7	0	0
新潟西	4	81.29	37	38	1	1
佐渡南	4	80.84	42	42	4	0
新潟北	3	64.23	42	42	0	0
新潟中央	4	73.00	25	25	0	0
新潟万代	3	85.96	36	38	6	2
第3分區(6クラブ)	△	79.32	131	131	8	0
新津	4	73.69	19	19	0	0
村松	4	88.63	10	11	0	1
五泉	4	80.89	18	18	3	0
白根	4	91.25	42	42	3	0
新津中央	4	81.46	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	4	60.00	11	11	1	0
第4分區(11クラブ)	△	78.84	362	362	22	0
三条	4	88.14	55	55	0	0
燕	4	62.20	33	34	1	1
加茂	4	93.74	28	28	4	0
三条南	3	85.25	51	51	2	0
分水	4	77.69	32	32	3	0
見附	4	70.00	20	19	1	-1
吉田	4	87.50	32	32	2	0
三条北	4	87.67	65	65	3	0
巻	4	79.20	9	9	0	0
田上あじさい	4	58.30	6	6	1	0
三条東	4	77.50	31	31	5	0

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現 在	7月末 会 員 数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	△	87.02	313	322	29	9
長岡	4	85.46	40	43	2	3
柏崎	3	77.72	42	45	0	3
長岡東	4	88.75	69	69	8	0
柏崎東	3	92.02	53	55	5	2
栃尾	4	83.75	21	21	0	0
長岡西	4	88.88	52	53	6	1
柏崎中央	3	92.59	36	36	8	0
第6分區(6クラブ)	△	83.42	156	159	11	3
十日町	4	99.26	34	35	3	1
小千谷	4	79.27	40	40	3	0
雪国魚沼	4	72.70	24	25	4	1
十日町北	4	98.96	23	24	0	1
津南	3	75.31	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	8	0	0
第7分區(8クラブ)	△	79.17	324	326	28	2
高田	5	100.00	61	63	0	2
直江津	4	74.18	51	51	4	0
新井	4	74.83	32	32	3	0
糸魚川	4	79.16	42	42	3	0
高田東	3	74.17	40	40	2	0
糸魚川中央	5	73.89	36	36	0	0
頸北	4	88.50	15	15	1	0
越後春日山	4	68.62	47	47	15	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
7月末 会員数	2,124	人
女性会員数	156	人
純増減会員数	27	人
当月平均出席率	82.20	%



# Rotary NEWS

Zones 1 & 2 & 3

## コーディネーター

# NEWS

2016年9月号

 発行：Zones 1 & 2 & 3  
 ロータリーコーディネーター  
 ロータリー公共イメージコーディネーター  
 今月号の担当 Zone 1 RC

### ■ 新クラブ設立

- ・第2620地区(第2ゾーン)に甲斐の郷ロータリークラブが6月27日に結成されました。
- ・第2680地区(第3ゾーン)に神戸モーニングロータリークラブが6月7日に結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸西ロータリークラブが7月20日に結成されました。八戸西RCは八戸中央西ロータリー衛星クラブを経て、日本で初めて承認されたケースです。
- ・第2750地区(第2ゾーン)に東京大井イブニングロータリー衛星クラブが7月2日に結成されました。スポンサークラブは東京大井RCです。

### ■ クラブ合併

2016年7月1日付で第2630地区(第2ゾーン)の不破ロータリークラブと不破の関ロータリークラブが合併しました。合併後は不破ロータリークラブになります。事務所及び連絡先、例会情報は不破RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も不破RCの「1970年7月24日」を引き継ぎます。

### ■ 脱会クラブ

6月30日付で以下のクラブがRI理事会に承認され脱会しました。

- 第2510地区(第1ゾーン) 松前RC
- 第2590地区(第2ゾーン) 横浜たまRC
- 第2590地区(第2ゾーン) 横浜ひまわりRC
- 第2710地区(第3ゾーン) 油谷湾RC
- 第2790地区(第1ゾーン) 富津RC
- 第2820地区(第1ゾーン) 藤代RC

### ■ クラブの奉仕活動の新聞記事を投稿してください

ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)は昨年10月から①「奉仕プロジェクトを考えるヒントの提供」②「広報の仕方」に関する情報提供機能を構築しています。本年度も引き続きクラブや地区が実施した奉仕活動が新聞に掲載されましたら「BOX」への投稿をお願いします。詳しくは地区またはRPICにお尋ねください。

### ■ クラブ数 会員数

Zone	クラブ数	会員数
Zone 1	830	28,430
Zone 2	651	27,909
Zone 3	793	32,585
合計	2,274	88,924

(2016年8月9日現在のClub Centralのデータです)

### ■ BOX登録件数

Zone 1	42 件
Zone 2	16 件
Zone 3	80 件

7月末現在 合計 138 件



## Rotary

JOIN LEADERS | EXCHANGE IDEAS | TAKE ACTION

ロータリーとは何かを説明するには写真にある3つのフレーズを使うと一貫性があり、明確に表現できます。様々な「リーダーが集まり」「アイデアを広げ」「社会のために「行動する」



会員候補者向け資料: 自分にできること 今日から始めよう (資料番号:001)

ロータリークラブにとって会員増強は最も重要な取り組みの一つです。今現在、十分な会員数に恵まれているクラブであっても時間の経過と共に会員も高齢化して行くのは当然のことです。したがって、会員増強はこれからのクラブを担う若い会員を少しずつ補強して、クラブのDNAを継承してもらわなければなりません。もちろん、新会員が入会することでアイデアが広がる可能性があります。新会員は活動する原動力になる可能性もあります。つまり会員増強は「活力あるクラブ作り」と言えるでしょう。

ロータリーの創設当時とは異なり、奉仕をする団体は数多く存在します。私たちがロータリアンとして相応しい入会候補者を選定したとしても、候補者がロータリーと他の団体との違いを理解してロータリーに興味を持っていたらなければ入会に結びつく機会を失うこととなります。違いを理解してもらう方法の一つとしてRIに入会候補者用の新しいパンフレット「自分にできること 今日からはじめよう」が用意されています。このパンフレットには、ロータリーの活動内容や他団体との違いが紹介されています。My ROTARYからPDFファイルをダウンロードするか、オンラインショップや国際ロータリー日本事務局で入手が可能です。(Zone1RC 酒井正人)



# ハイライトよねやま 197

2016年8月12日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 2016-17年度もほぼ好調にスタート —

2016-17年度最初の月となる7月の寄付額は約2億1,200万円、前年度と比べて5.3%減（普通寄付金：2.8%減、特別寄付金：11.7%減）、約1,200万円の減少のスタートとなりました。2007年度以降最高額だった昨年度には及ばなかったものの、好調だった2014年度の寄付額とほぼ同額となりました。寄付者の皆様に厚く御礼申し上げます。日本のロータリーが世界に誇る米山奨学事業の継続と発展のため、今後ともご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 来春採用の奨学生募集がスタート

2017年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で532校（前年度528校）。指定校からの被推薦者数は1,748人（前年度1,643人）で、この中から新規奨学生585人が選ばれます。

地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は13地区で、指定されたのは23校、そのうち初指定は6校でした。また、指定校への要望として、地区独自の選考基準を提示したのは34地区中31地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。募集要項・申込書は、7月29日に全指定校へメールで案内しました。

※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています。

## 2016-17年度地区米山奨学委員長対象のセミナーを開催

2016-17年度が始まる直前の6月20日、当該年度の地区米山奨学委員長を対象に、第2回セミナーを開催しました。2012-13年度以降、次期米山奨学委員長セミナーは、「11月または12月」と「5月または6月」の年2回開催しており、後半となる今回のセミナーでは『どんな奨学生を採用し、どのように育てるか』について、講義とグループディスカッション、全体会議、質疑応答が行われました。



グループディスカッションでは、参加者は3グループに分かれ、下記テーマについて、ファシリテーターのリードで50分ずつ議論し、理解を深めました。

1. どのような学生を採用するか 【ファシリテーター】高野孫左門氏（選考委員）
2. どのように育てるか—学友会の重要性【ファシリテーター】安増惇夫氏（第2700地区理事）
3. 海外応募者対象奨学金制度 【ファシリテーター】前田靖文氏（前・第2680地区評議員）

参加者アンケートでは、今回のセミナーについて、「他地区の選考方法の事例が参考になった。時間、内容を十分に検討したい」「海外応募者対象奨学金の導入を検討してみようと思った」「意見交換の切り口が適切で、ファシリテーターの誘導が上手だった」などのご意見をいただきました。また、「ディスカッションの時間が短く、発言が十分にできなかった」というご意見も多くいただきましたので、今後、改善を検討してまいります。

## 熊本・大分、元気です！ — 第 2720 地区夏季研修会 —

第 2720 地区（熊本・大分）米山奨学委員会が主催する「夏季研修会」が 7 月 23～24 日、杵築市内で開催されました。2 県にまたがる同地区で奨学生が一堂に会するのは、4 月の熊本大地震後初めてのことで、まだ復興への道はスタートしたばかりであるにもかかわらず、奨学生・カウンセラー・地区委員は一人の欠席者もなく、前田眞実ガバナーを驚嘆させました。

緊張感あふれる 1 日目の研修では、ガバナーアドレス、当会理事の岡村泰岳氏の講演、同地区出身で現在、東京米山友愛 RC 会員となった林志英さん（1990-91/大分 1985 RC）のスピーチにより、人生の目標や奨学生としてのあり方を考えました。夕刻からは、バーベキューで笑顔がはじけました。ロータリアン・奨学生・学友による“米山ガールズ”のフラダンス、母国でプロ歌手の資格をもつ奨学生の歌唱、盛り上げ上手なネパール人奨学生のパフォーマンス——。外国人には物珍しいスイカ割り、キャンプファイヤーなど、盛りだくさんのプログラムでした。2 日目は早朝散歩からスタートし、基調講演、一言スピーチ、グループディスカッションを経て研修会は終了しました。

「元気な熊本、元気な 2720 地区をお見せしたい」、という秋吉実米山部門委員長の意気込みどおり、ガバナー・ガバナー補佐をはじめ、米山に関わるすべてのみなさんの熱気を感じる 2 日間でした。



## ソウルで活躍した関西米山学友会、今年も総会が大盛況

7 月 3 日、関西米山学友会の総会と新奨学生歓迎会が大阪市内ホテルで開催されました。

同学友会総会は毎年、韓国・台湾・タイなどの海外や他地区から多くの参加者が集まる賑やかな総会です。今年は奨学生・学友が約 80 人、ロータリアンやその家族を含めて総勢約 160 人が参加しました。

テーマは「実践躬行」。活動や会計監査報告のほか、今後のイベント案内、大阪市立大学教授による危機管理セミナーがありました。参加者の最大の楽しみは懇親会で、韓国伝統楽器の初心者である奨学生が猛特訓を積んでの合奏、韓国人以外の奨学生・学友による「アリラン」の熱唱、スペインダンスなど、ソウル国際大会の熱気そのままに、会場は大盛り上がりでした。潘振興会長（1996-98/奈良大宮 RC）は、「米山学友には境界線がないこと、奨学生のつながりは世話クラブだけではないことを伝えたい。関西ならではのノリを大事にしながら、いつものメンバーだけでなく多くの学友に参加してもらえたい」と、笑顔で振り返りました。



## ソウル国際大会の DVD が完成！



2016 年ソウル国際大会での米山ダイジェスト、「世界に羽ばたく YONEYAMA in SEOUL」が完成しました！ブース、学友合同懇親会、RI 主催学友レセプション、米山史上初の分科会。YONEYAMA が世界に羽ばたく第一歩を収録した 16 分間の映像です。分科会で使用したオープニング映像（3 分間）もご紹介します。HP から視聴できます。また、DVD のご要望があれば無料で送付します。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>  
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

## 米山梅吉記念館便り

### シリーズ① 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で矚目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉15.6歳頃。  
壁に半紙で「有一志」の文字。

### 米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付  
本文590ページ/4,000円

#### 米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをかき上げ上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文豪も掲載しています。

**秋季例祭** | 平成28年9月24日(土) 午後2時～ 式典/講演会  
**ご案内** | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。多くの皆様ご参加ください。

### 公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1  
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101  
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>  
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp  
[開館時間] 午前10時～午後4時  
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整列のための休館日(5月・8月の特定日)



### 2016年9月から2017年6月までの掲載内容予定

- |      |      |                    |
|------|------|--------------------|
| 2016 | 9月号  | 出生、幼年期             |
|      | 10月号 | 渡米準備～アメリカでの8年間     |
|      | 11月号 | 帰国～三井銀行入社          |
|      | 12月号 | 海外出張、三井銀行時代の出世     |
| 2017 | 1月号  | 三井銀行時代のエピソード       |
|      | 2月号  | 米山梅吉の家族            |
|      | 3月号  | 三井信託～三井報恩会         |
|      | 4月号  | 三井報恩会(幅広い社会への奉仕)   |
|      | 5月号  | 青山学院(幼少時教育と学院への支援) |
|      | 6月号  | ロータリー 福島喜三次との邂逅    |

## 文庫通信 (348号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演から

- ◎「一服の叡智」 ビチャイ・ラタクル 2015 12p (D.2520地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーの心」 千 玄室 2016 2p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「もう一度ロータリーを…」 小船井修一 2015 8p (D.2520地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを楽しもう」 河本英典 2016 2p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「日本の文化・伝統と教育が、拓く未来!」 櫻井よしこ 2016 11p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「繋がる夢」 シルネン・ブヤンジャルガル 2016 3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「スポーツの可能性」 為末 大 2016 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「東洋スロトレー老いない体の作り方」 田中貴恵 2016 4p (D.2780地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日